

ユネスコ創造都市ネットワークへの 加盟申請について



1. ユネスコ創造都市ネットワーク (UCCN) について

創造性を核とした都市間の国際的な連携によって、地域の創造産業の発展を図り、都市の持続可能な開発を目指すもの。各都市は、同ネットワークを活用し、知識・経験の交流、人材育成、プログラム協力を行う。平成16（2004）年に創設。7分野で世界の350都市が加盟（R5年10月末現在）

① 対象分野

デザイン（49）、文学（53）、映画（26）、音楽（75）、クラフト&フォークアート（66）、食文化（56）、メディアアート（25） ※カッコ内は都市数、2025年の申請から新たに建築分野が加わった

② 加盟都市の活動

- ・年次総会、分野別会議等への参加による優良事例の共有
- ・登録分野に係る国際フォーラム/展示会への参加又は開催
- ・関係者の相互派遣を通じた交流や人材育成
- ・地域産業・観光・教育・福祉など他分野と結びついた事業の実施

③ 加盟の効果

- ・国内外への情報発信、他のUCCN加盟都市との交流が容易になり、都市ブランドイメージが向上。
- ・ユネスコ創造都市や登録分野という切り口に立脚した具体的な取組がしやすくなる。
- ・市民の郷土の文化に対する誇り、愛着の醸成につながる。

※浜松市においては、市民アンケートにおける文化事業の取組に対する満足度が、加盟後10年間で12%アップ

2. UCCN国内加盟状況 (令和5年11月現在: 11市)

山形県山形市 (2017年、映画)



北海道旭川市 (2019年、デザイン)



山形県鶴岡市 (2014年、食文化)



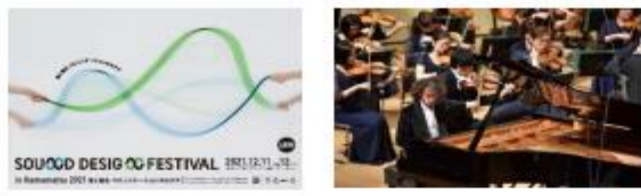
北海道札幌市 (2013年、メディアアート)



石川県金沢市 (2009年、クラフト&フォークアート)



静岡県浜松市 (2014年、音楽)



岡山県岡山市 (2023年、文学)



愛知県名古屋市 (2008年、デザイン)



大分県臼杵市 (2021年、食文化)



兵庫県神戸市 (2008年、デザイン)

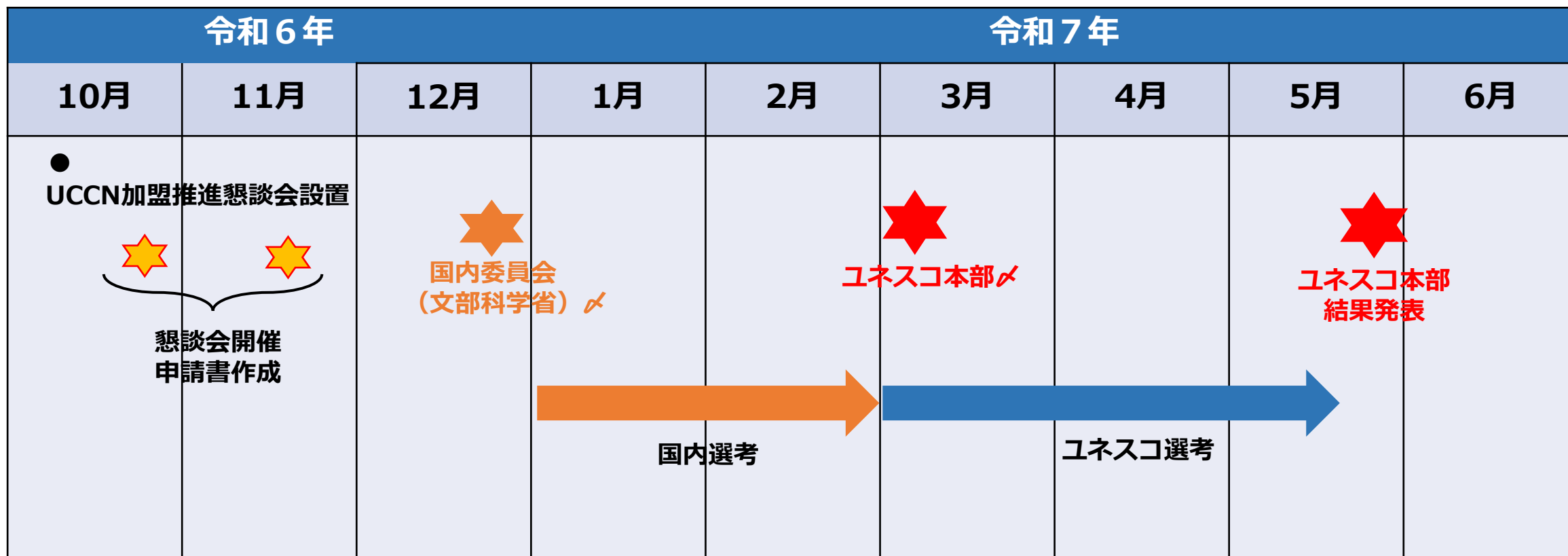


兵庫県丹波篠山市 (2015年、クラフト&フォークアート)



3. UCCN加盟申請スケジュール

- UCCNは、2年に一度加盟申請の募集を実施。
- 昨年12月27日に国内、本年3月3日にユネスコの申請受付が締め切られ、審査の後、5月末頃に結果発表予定。
- ユネスコの選考に進めるのは、分野の異なる国内2都市までであり、現在、国内選考のプロセス中。



【直近の主な予定】

R6.12.27 国内選考締切（提出物：日本語版申請書・英語版申請書）

R7.1.20 国内委員会ヒアリング

R7.3.3 ユネスコ申請締切（提出物：英語版申請書・市長の意思表明書・国内音楽2団体からの推薦書・写真3枚）

4.申請書の全体概要について

申請番号	概要
1～3	市の概要、開発戦略、加盟による効果等
4.1～4.20 (英語1,200字以内)	過去4年間の実績 <ul style="list-style-type: none">・音楽分野の地域・全国・国際的な大会やイベント、専門家や文化産業への支援等・音楽分野の教育機関、研究開発、公認インフラ等・分野横断的な取組やイベント
5.1～5.5 (英語1,200～4,000字以内※) ※項目ごとに異なる	今後（加盟後）4年間の取組 <ul style="list-style-type: none">・地域の創造産業の発展を図り、都市の持続可能な開発を目指すための地域レベル、国際的レベルでの取組・市全体への周知、意識向上に向けた計画及び期待される効果

【申請書作成のポイント】

- ①内容の重複を避ける
- ②文字数制限の中で簡潔に分かりやすく記載
- ③全体のストーリー性：瀬戸内国際芸術祭と高松国際ピアノコンクールを軸に記載
- ④独自性：漆器や庵治石等、音楽以外にも豊富な地域資源があり、様々な分野のコラボレーションで相乗効果を生み出している旨を記載

【評価の視点】

- ◇SDGsやMONDIACULT2022宣言（下記）に沿っているか
- 1.文化的権利を保障する
 - 2.文化分野でデジタル技術を活用する
 - 3.文化と芸術教育を促進する
 - 4.文化のための持続可能な経済エコシステムを実現する
 - 5.気候変動に直面して文化を保護し、促進する
 - 6.危険にさらされているアーティストと文化を保護する

5. 加盟後4年間の活動計画について（抜粋）

申請番号及び内容	概要
5.1 <u>地域（都市レベル）</u> でUCCNの目的を達成することを目指した、主要な取組（最大3つまで）	<ol style="list-style-type: none">1. 誰もが参加できる多様性のある音楽を軸としたまちづくり<ul style="list-style-type: none">・まちなかでの音楽イベントを根付かせるとともに、音楽を自由に奏でられるスペースの拡大に取り組み、音楽が日常生活において、より身近になることを目指す。・保育所や病院等に音楽家を派遣するなど、年齢、障がいの有無等に関わらず、誰もが音楽活動に参画し、その価値を享受できる環境の整備を進めていく。2. 各種公演や共同プロジェクトを通じた他都市との交流<p>本市作成のオペラを他都市で公演するほか、金沢市と共同プロジェクトを行う。</p>3. 持続可能なコミュニティの形成、各分野を横断したネットワークの強化<p>2025年から新たに設置する地域アーツカウンシルを中心に、あらゆる市民が文化芸術の担い手の主体となる持続可能な文化芸術コミュニティを形成する。</p>
5.2 <u>国際レベル</u> でUCCNの目的を達成することを目指した、主要な取組（最大3つまで）	<ol style="list-style-type: none">1. 他の国際ピアノコンクールとの連携事業<p>他の国際ピアノコンクールとの連携事業を実施することで、より質の高い音楽鑑賞・教育機会を提供する。</p>2. ミュージシャン・イン・レジデンス<p>これまで分野を限定せずにアーティストの募集を行ってきたことから、今後、音楽枠を新たに設け、国内外の音楽家に広く参加を呼びかける。</p>3. 瀬戸内国際芸術祭2025及びその後の連携強化<p>瀬戸内国際芸術祭2025を踏まえ、国際的な取組をさらに拡張していく。</p>

6. UCCN加盟後に目指すまちの姿

音楽を中心に、高松らしい伝統産業などの他分野とも結びつけながら、誰もが参加できる多様性のある創造都市を目指します

国際交流

音楽

ものづくり

こども

食

観光